



NBI 葉面湿度センサー (NBI-SSLFM01)

ユーザーズマニュアル

目次

1.概要.....	3~4
2.使用方法.....	5
3.メンテナンス.....	5
4.注意事項.....	6
5.FAQ.....	6

1. 概要

1.1 機能およびアプリケーションの説明

NBI葉面湿度センサーは葉面湿度を観測し、病虫害を予防し、および散水灌漑制御の重要なセンサーでありハウス、田畑などの環境における作物の葉面の表面含水率を正確に測定することができる。RS 485インターフェースを持ち、NBI Watcher Pro 2などのシリーズ無線環境モニター製品と一緒に使用し、ユーザーに管理プラットフォーム上で葉面環境の変化状況を明確に理解させ、作物の成長発育状況および作物生育研究の理解に有利であり、病虫害の発生および警告を予防し、葉面施肥、散布、噴霧および灌水制御に便利である。

NBI 葉面湿度センサは以下の機能特徴を有する。：

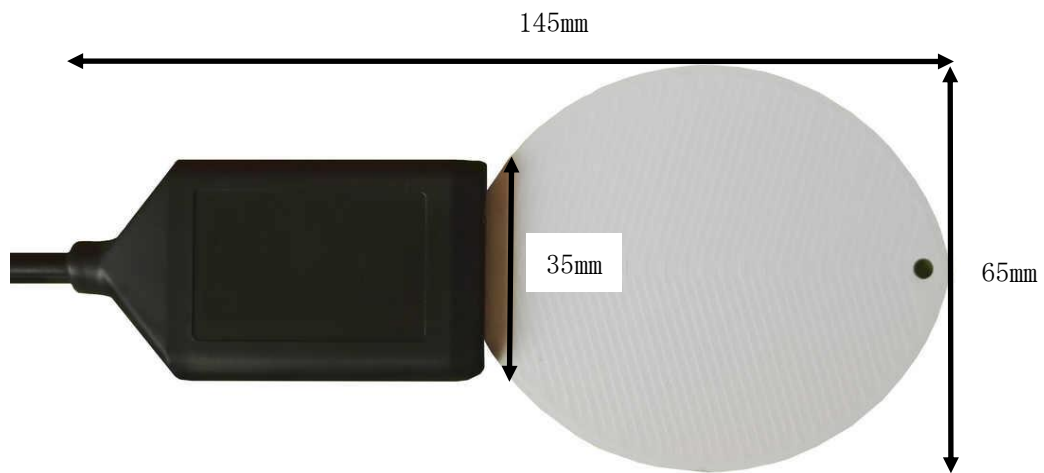
- 葉面構造設計をシミュレートし、センサーが実際に葉面の水分散プロセスを反映するようにした。
- 霧、氷、結露、降雨を検出できる。
- 防水シールは、直接葉面施肥、散水、散水の場合、屋外で使用することができる。
- 精度が高く、応答が速く、互換性がよく、性能が信頼できる。

1.2規格

1.2.1 技術パラメータ

型番	NBI-SSLFM01
出力信号	RS485
レンジ	0~100%
精度	±5%
安定時間	通電後1秒
ケーブル長	デフォルト2メートル、その他の長さはカスタマイズできる。

1.2.2 サイズ



1.2.3 各部の説明



2. 使用方法

2.1 取付手順

葉面湿度センサは、温室のハウスに吊り下げても大丈夫ですし植物の枝に吊り下げも可能。センサーは、取り付けられたときに、ブレード部分のグリッド面が上を向いていることをシミュレートし、周囲のブレード面と床面との間の角度にほぼ一致させる。

葉面肥料散布などの検出を行う場合には、植物の葉面の異なる高さに複数取り付け、植物が地面に接近する葉面肥料効果を確保することができる。

注意:プローブを破損しないように、砂利または硬い土壤にプローブを挿入しようとしなさい。

センサーを取り付けるとき、防水ケーブルの乾燥を確実にする。

センサのケーブルを強く巻き付けたり、引っ張ったりしない。センシングデータの読み取りが出来なくなる場合がある。

2.2 センサー取付方法

取り付けが完了したら、汚れやごみがついているなど、乾いていないか確認し、きれいに乾いた柔らかい布で拭いてから使用する。

NBI葉面湿度センサーは、NBI Watcher Pro 2などの無線環境観測用ノードセットのみにしか使用できませんのでご注意ください。製品でサポートされるインターフェースは、以下の表のとおりである。:

ノード	インターフェース番号
Watcher Pro 2	A1、A2、B
センサ拡張ボックス	1、2、3、4、5

葉面湿度センサジョイントを上表にリストしたジョイントに直接取り付ければよく、使用時はまず製品の電源を切ってから、ジョイントの防水キャップを外し、センサジョイントを差し込んだ後、時計回りに締め付ける。センサインターフェースおよびコネクタは、固定された取り付け方向があり、取付位置は決まっているのでご注意ください。センサーやノードの破損の原因となる位置や向きを変えないようにご注意ください。

3. メンテナンス

プロジェクト	内容	周期
ケーブル	正常に動作しているときは、ケーブルは緊張してはいけない。 破損、折れの有無を確認する	1ヶ月に1回
測定部位	ゴミの付着を防ぐためにごみやごみを取り除く	1ヶ月に1回

4. 注意事項

- ① NBI葉面湿度センサは、NBI Watcher Pro 2など一連の無線環境観測用ノードセットにしか使用出来ません。他のメーカーの製品で使用した場合センサーが故障する可能性があります。
- ② 高音な場所など極端な環境で使用しない。
- ③ 設置場所は、化学成分を含んだ腐食性の高い環境から離れている必要があります。;
- ④ センサーの接続時は電源をオフにし通電をしてはいけません。
- ⑤ センサーおよびワイヤは、高電圧、熱源などから離れている必要があります。
- ⑥ センサの部品を自分で取り外さない。故障や破損の原因となり保証対象外となります。
- ⑦ センサーは精密機器なので大切に保管しておいて下さい。

5. FAQ

問題	原因の可能性	解決方法
センサ無データ	<ol style="list-style-type: none"> 1. センサは認識されなかった。 2. センサは、ノードに正しく接続されていない。 3. ケーブルまたはセンサの故障。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ノードを再始動する。 2. センサーコネクタを取り外し、再接続する。 3. support@techsor.co.jpへ連絡して交換またはメンテナンスする。
センサデータ異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しくインストールされていない。 2. センサプローブが異物に付着した。 3. センサが故障している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上記のようにして、センサーを取り付け直し。 2. センサ表面を清浄化する。 3. support@techsor.co.jpに連絡して交換またはメンテナンスする。



709, Building 2, Xunmei Technology Plaza,
Nanshan District, Shenzhen
www.nongbotech.com
+86 (0) 755-36309585

日本総代理店

株式会社テクサー

〒105-0013 東京都港区芝2丁目5-19 ITOビル5階

TEL:03-6803-4317 FAX:03-6803-4318

www.techsor.co.jp | support@techsor.co.jp

ZETAアライアンス

www.zeta-alliance.org | info@zeta-alliance.jp